



企業が直面している情報の課題は、まず必要な情報を探し出すことに始まります。手に入れた情報は、その意味を理解して、必要なときに必要な形で利用できるようにしなくてはなりません。情報の信頼性確保や管理手段も重要な課題として存在します。ビジネスに活用する情報の信頼性・整合性・完全性を確立し、必要なときに確実にアクセスできるようにしなければ、これらの課題は決してなくなりません。

革新的なソフトウェア・プラットフォームであるIBM Information Serverは、社内のシステムに散在する多種多様で複雑な情報からより多くの価値を引き出します。様々なタイプのデータを統合し、信頼できる情報が必要なとき、必要な場所で、必要とするユーザーやアプリケーション、プロセスに提供される環境を作ります。また、ビジネス・ユーザーとIT担当者の連携を促し、どのようなソースから得た情報であっても、その意味や構造、内容を理解できるようにします。IBM Information Serverは画期的な生産性とパフォーマンスにより、安全かつ整合性の高い情報のクレンジング、変換、移動を企業規模で実現します。この新しい情報活用手段は企業が抱える情報課題を解消し、イノベーションの促進、運用効率の向上、リスクの軽減など、多岐にわたるビジネス・メリットをもたらします。

### IBM Information Server:様々なビジネス目標を達成する包括的ソリューション

企業情報アーキテクチャーの基盤となるIBM Information Serverは、戦略的なビジネス施策を推進する上で必要不可欠な要素です。正確かつ整合性のあるビジネス情報についての洞察を提供することで企業の競争力を強化し、以下のような多方面での優位性を築くことができます。

#### • ビジネス・インテリジェンス (BI)

企業の構造化データ/非構造化データを活用し、顧客、仕入先、パートナー、業務に関する情報を360°のビューで閲覧できるようになります。ビジネス情報の統合ビューを提供することで、既存のデータ・ソースを全社的に理解できるようになり、意思決定プロセスが

改善されます。また、情報のクレンジング、修正、標準化を行い、さらに分析ビューを登録することで、再利用性を全社的に高めます。

#### • マスター・データ管理 (MDM)

様々なソース・システム内での情報の保管場所、保管方法を明らかにして、信頼できるマスター・データを作成します。情報のクレンジングおよび標準化、重複の削除、そして複数システム間のレコードの関連付けを行うことにより、多種多様なデータを信頼性の高い1つのマスター・レコードに統合します。Information Serverによるソリューションは企業のニーズおよび施策に基づいてデータ活用手段を選択できるため、マスター・レコードをオペレーショナル・データ・ストアやデータウェアハウス、IBM

WebSphere® Customer Centerのようなマスター・データ・アプリケーション管理基盤にロードするほか、オンデマンドでマスター・レコードを作成することも可能です。

#### • インフラストラクチャーの合理化

インスタンス統合のためのマイグレーション・ルールや、旧システムから新規アプリケーション/データベースにデータを移動するためのマイグレーション・ルールを定義できます。これによりシステム間のリレーションシップを理解できるため、結果として運用コスト削減につながります。インフラストラクチャー合理化のプロセスで提供されるデータ・クレンジングおよびマッチングにより、新システムでは最高のデータ品質が保証されます。

● **ビジネスの変革**

IBM Information Serverは戦略的ビジネス施策を支援します。開発サイクルを加速して企業が価値を生み出すまでの時間を短縮するとともに、再利用可能な情報サービスの提供を通じてビジネスの敏捷性を高めます。標準に準拠して構築されたこれらの情報サービスは、アプリケーションやビジネス・プロセス、ポータルへのシームレスな接続が可能です。サービスは専門家により1ヵ所で集中管理されますが、サービスへのアクセスは企業内のどこからでも幅広く可能です。

● **リスクとコンプライアンス**

リスクの影響度を軽減し、同時に可視性とデータ・ガバナンスを向上させることができます。完全性、信頼性、監査性の高い情報ビューを定義、管理し、情報の来歴と品質を証明します。これらのビューは共有サービスとして幅広く利用、再利用可能ですが、その定義ルールは集中管理されます。

**システムに散在する複雑・多様な情報から、より多くの価値を引き出す**

企業ではどのような戦略的施策が行われているのでしょうか。新商品や新サービス導入のチャンスを逃さないため、あるいは競業他社の脅威に対抗するため、機敏な対応能力を備えることは言うまでもなく非常に重要な施策です。迅速な意思決定ができる敏捷性が企業には求められています。必要な情報を必要な形で、必要なときに必要な人に提供できる情報インフラストラクチャーの構築も、戦略的施策の1つとして挙げられます。

これらの課題への対応としてIBMが提供しているのがIBM Information Serverです。IBM Information Serverは、企業の鍵となるビジネス施策を実現するために、情報の統合・強化・提供を支援する機能を幅広く提供し、情報の信頼性を高めます。充実した機能性と多種多様なソースに対応できる幅広い接続性、そして統合されたメタデータ主導のアプローチにより、エン

タープライズ情報アーキテクチャーの強力な基盤となります。

**データを理解する**

情報の意味やリレーションシップ、来歴をさらに深く理解するために、IBM Information Serverは情報の内容や構造を検出、定義、モデル化する機能を提供します。データ・プロファイリングおよびデータ品質の監査をシステム内で自動化することにより、以下のような効果が期待されます。

- データ・ソースおよびリレーションシップの理解
- 正確性、整合性に乏しいデータの使用、蔓延の防止
- 生産性の向上
- 既存のIT投資を活用した能力の向上

**情報のクレンジングを行う**

IBM Information Serverのデータ・クレンジングには、標準化・検証・マッチング・マージなどの機能が含まれます。これらは包括的かつ信頼性の高い情報を作成し、多目的な情報活用を実現するとともに、高い監査性と整合性をもつデータ品質を提供します。品質ロジックは視覚的に設計でき、また幅広くデプロイ可能なため、全社的なデータの整合性と正確性が保証されます。情報の品質向上は、企業に以下のような能力をもたらします。

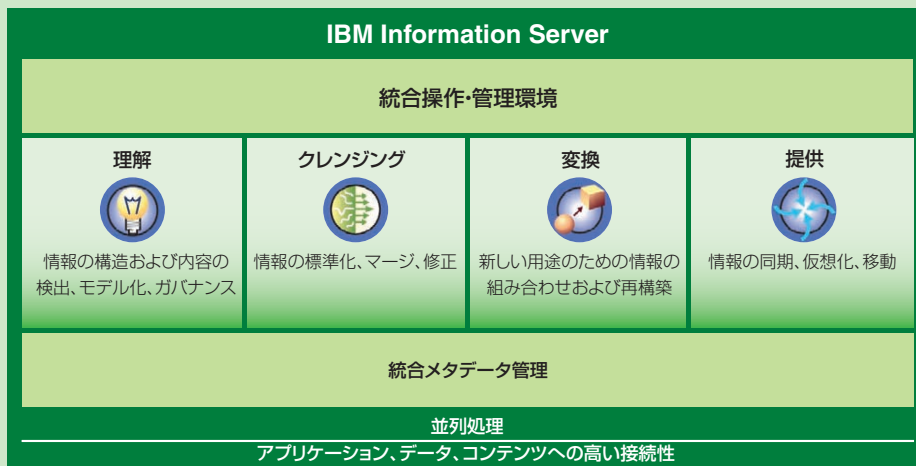


図1: IBM Information Serverによる情報統合は、新しい形での情報アクセス、情報活用を支援し、イノベーションの推進、運用効率の向上、リスクの軽減を実現します。



## IBM Information Serverのプラットフォーム

IBM Information Serverは革新的なデータ統合メソッドロジーに基づき、1つに統合されたプラットフォーム上に構築されています。企業内のシステムに散在する、複雑で多種多様な情報からより多くの価値を引き出し、以下のようなメリットを提供します。

- **生産性**: 異種情報の取り扱いを大幅に単純化します。迅速かつ簡単に理解できる情報を作成、統合、提供し、あらゆるビジネス要件に応えます。
- **信頼性**: 情報の整合性と品質を全社的に保証することにより、情報の信頼性を高めます。また、情報の意味・背景・来歴を管理することで、ビジネス・ユーザーとIT部門がそれぞれの目的を共有できるようにします。
- **拡張性とパフォーマンス**: 情報の包括的なビューをタイムリーかつ効率的に提供し、膨大な量のデータを処理すると同時に、将来的なデータ量の増加に対応できるようにします。
- **価値**: サービス指向アーキテクチャー (SOA) を利用して、サイロ化されたアプリケーションから情報を取り出し、全社的なアクセス性と整合性に優れた情報を作成します。

- 信頼できるデータに基づく、効率的・効果的なビジネス上の意思決定
- 顧客、製品、仕入先などの情報を単一の正確なビューで把握することにより、ITおよびサプライチェーンのコストを削減
- 顧客サービスの改善と収益増加につながる機会の増加
- サーベンス・オクスリー法 (SOX法)、パーゼルIIなどの規制遵守に必要な、信頼性と可監査性の高い情報の収集

### 「データ」を「情報」に変換する

IBM Information Serverによる情報の変換・強化は、新たな用途や新たな手段での情報活用を可能にします。標準装備された数百にも及ぶメタデータ主導の変換機能により、情報を組み合わせて再編成、集約し、アプリケーション中心に管理されていた情報をまったく新しい形で活用できるようにします。この変換機能は新しいビジネス・ニーズに適した情報活用手段を実現し、以下のようなメリットをもたらします。

- 異種データ・ソースからの複雑なデータ統合を単純化
- 複雑かつ多種多様なデータから重要情報や関連情報を取得
- 用途にふさわしい情報形式を保証
- すべての人がいつでも利用できる、全社的なビジネス・ビューを提供

### 情報を提供する

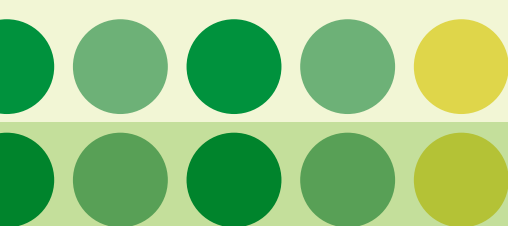
情報の仮想化・同期・移動などの機能により、情報を必要とする人やプロセス、アプリケーションが、必要なときに必要な形式でその情報を入手できるようにします。情報の提供方法(

オンデマンド、フェデレーション、時間やイベント駆動など)に関わらず、情報のある場所から別の場所に一括して移動することや、同じコア・ロジックを再利用して移動させずにアクセスすることも可能です。情報の提供機能により、以下のようなことが可能になります。

- 情報が必要なときに必要な場所で必ず利用できることを保証
- データのアクセス性・整合性を強化し、ユーザーの操作性を向上
- レイテンシーを低減し、業務情報をリアルタイムで可視化

1996年以降、ストレージ要件は年平均成長率37%で増加してきました。増加し続けるデータ量は運用効率の妨げとなりつつあります。より大きいデータ量をより短時間で処理しなければならず、場合によってはパフォーマンスの問題にも取り組む必要が生じています。

IBM Information Serverは強力な並列処理技術によって膨大な量の情報を高速に処理し、これらの課題を克服します。処理能力がプロジェクト成功の阻害要因とならないよう、ソリューション内でのハードウェアの拡張を容易にするとともに、既存ハードウェアの処理能力をすべて活用できるようにします。



### メタデータの統合

統合されたメタデータ・インフラストラクチャーにより、ビジネス・ドメインと技術ドメイン間の共通理解を促進します。このメタデータ基盤は、設計から開発までの時間を短縮するだけでなく、共通理解に基づく永続的なレコードを提供することによって、下流のプロジェクト納入時間を大幅に短縮し、情報の洞察と信頼性を総合的に向上させることができます。IBM Information Serverのすべての機能は同一のメタ・モデル(設計および運用メタデータ

を含む)を共用しているため、プロジェクト作業の完了に必要な様々な役割と機能をシームレスに連携できます。

### 共通の接続性

様々なソース(構造化、非構造化、メインフレーム、アプリケーションなどのデータ・ソース)に散在する情報に対して、非常に幅広く高度な接続性が提供されます。プラットフォーム全体でメタデータ主導の接続性を共用するのに加えて、接続オブジェクトはどの機能でも再利

用できるため、企業内のあらゆる種類の情報を容易にオンデマンドで入手、提供できるようになります。

### 共通サービス

プラットフォーム内の主要タスクは、共通サービスにより集約されています。IBM Information Serverはこのサービス群をベースとし、セキュリティー管理、ユーザー管理、ログ管理、レポート作成などの管理タスクをコントロールします。使用されている製品機能に関係なく、すべての機能は1つの場所で管理されます。

共通サービスの1つとして含まれるメタデータ・サービスは、プラットフォーム内にあるメタデータへのアクセスや分析を行います。さらに共通サービス層は、各製品機能からのサービスのデプロイ方法も管理します。クレンジングや変換のルール、フェデレーテッド・クエリーを、一貫性のある使いやすいGUI上で、SOAの共通サービスとして発行できるようになります。

### 統合されたユーザー・インターフェース

IBM Information Serverにはロールに応じた統合ビジュアル・ユーザー・インターフェースが備えられており、複数の機能をまたいで情報統合ロジックを設計する際に最も大きな効果を発揮します。この統合ユーザー・インターフェースは分析、開発、管理という3つのアクティビティー・タイプに分かれています。ロール中心の生産性とロール間のコラボレーションに重点を置いているため、プロジェクトの開発時間を大幅に短縮します。

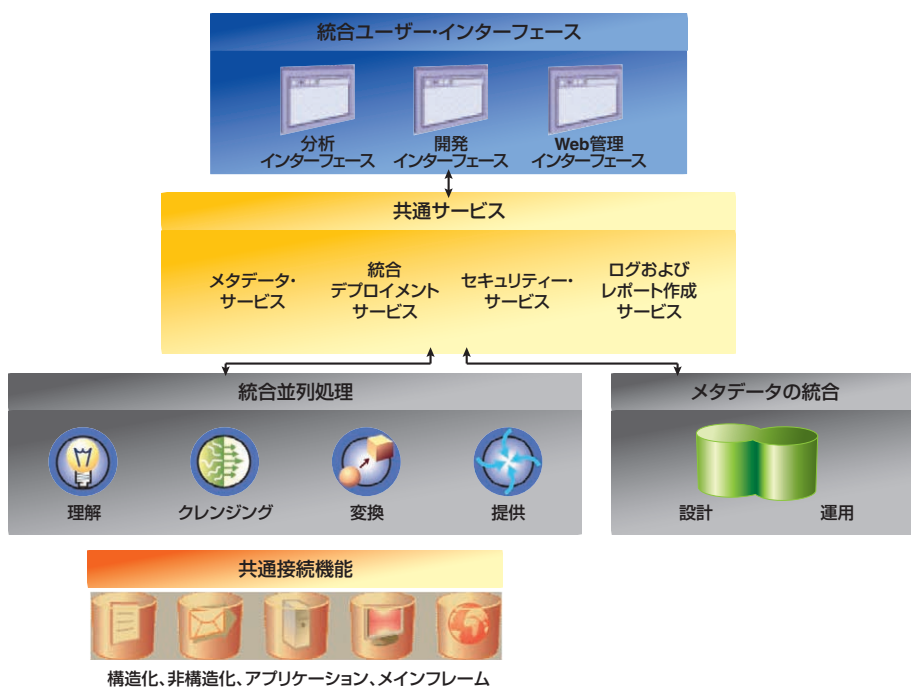


図2: IBM Information Serverのハイレベル・アーキテクチャー、アーキテクチャー要素、統合並列処理エンジン

### 革新的なテクノロジーに基づく情報統合で、ビジネスを成功に導く

#### 付加価値サービス

ビジネスの鍵となる施策を実行するとき、効果的な情報統合なくして成功を納めることはできません。これこそIBMの情報統合ソリューションが、企業独自のビジネス目標を達成するのに必要なサービスおよび業界に合わせた専門知識を提供するだけのソフトウェアにとどまらない理由です。専門的なサービスとサポートによって導入をカスタマイズし、様々な目標達成を支援します。また、業界データやプロセス、統合モデルにも実績があるので、重要なビジネス施策にこれらを活用すれば、短期間で価値を生み出すことが可能です。IBMのソリューションには、以下のようなものが含まれています。

- 実績のあるデータ統合方法の適用:プロセスの早い段階で重要なステップを発見することができ、後からリカバリーのために余分な時間やコストをかける必要がなくなります。
- トレーニング、ベスト・プラクティス、コンサルティングの提供:必要な情報を素早く入手し、長期的なシステム・メンテナンスに不可欠な経験を得ることができます。
- 銀行業、保険業、通信業、および小売業向けに用意された、非常に幅広く包括的なデータ、プロセス、および統合モデルの使用

### グローバル・テクノロジー・サービスによる導入支援

IBMはデータ・システムの設計と企業固有の情報管理アーキテクチャーの検証に長年の経験を持ち、様々なビジネス要件に最もふさわしいソリューションを提供しています。企業独自のニーズに合わせてカスタマイズしたソリューションは、既存のIT資産を最適化するのに有効です。IBM Information Management Servicesは企業の統合ITアーキテクチャー構築、先進テクノロジーの導入、情報管理に対する既存または将来の投資の最大化を支援します。データ統合によりビジネス施策をサポートし、社員・顧客・パートナーの生産性向上、データの妥当性と整合性の信頼レベルの向上をもたらします。

#### イノベーションのためのテクノロジー

IBM Information Serverは特許を取得しているIBM Iterations®のデータ統合方法と連携し、情報統合と重要ビジネス施策が短期間に高い成果を生み出す支援をします。

IBM Information Serverは以下のような特長により、今までにないレベルの情報統合、スピード、柔軟性を実現します

- **生産性**—データ品質機能とデータ変換機能の統合により、共通タスクの複雑性を大幅に緩和します。異種ツールと異種エンジンを使用した開発に比較した場合、開発にかかる時間と必要な開発ステップの数を最大40%減少させることができます。
- **信頼性**—ネイティブ・データのプロファイリングと分析により、企業内のソース・システムの物理構造・使用法・品質を完全に理解できます。

#### • 拡張性およびパフォーマンス

パーティショニングとプロセスのパイプライン化を完全に自動化した真の並列処理により、使用可能なハードウェアにあわせて自由に拡張・縮小できます。ハードウェア構成が変更されても、ジョブ設計を変更する必要はありません。

- **価値**—迅速なサービスによりわずか数分でデプロイメントを完了できます。使用する管理インターフェースも1つだけです。ITスタッフが特別なプログラミング・スキルを習得する必要はありません。言い換えれば、その情報を最もよく理解している人であれば誰でも情報サービスを公開、管理できます。

#### ビジネスにとっての利点

全社規模で行われる戦略的デプロイメントや特定のプロジェクトにおける戦術的な導入などは、IBM Information Serverの情報統合アーキテクチャーを基盤とすることで、長期的なメリットを得ることができます。再利用性、全社規模の拡張性、および進化する統合要件への適応性を備えたIBM Information Serverは、以下のような重要なビジネス目標やメリットの達成を支援します。

- 共通サービスと統合メタデータにより、飛躍的な生産性と柔軟性で情報を統合、強化し、戦略的ビジネス施策から短期間で価値を生み出します。
- 信頼できる情報を全社規模で提供することで、ビジネス・データの品質が改善し、監査性も向上。リスクの減少につながります。
- 整合性のある再利用可能な情報サービスにより、データの冗長性を排除し、システムを効率化。コストの削減を実現します。
- 業界または政府による法規制に対し、迅速な対応ができます。

### 成功につながる最適化—システム要件

人員・予算が削減される中でより多くのビジネス要件に対応しなければならない状況では、既存のシステムおよびアプリケーションの活用が不可欠です。IBM Information Serverは、あらゆるデータ・タイプと複数のアーキテクチャの統合をサポートするソリューションです。迅速なトランザクション処理、業務の効率化、顧客サポート、さらに正確な意思決定を実現する強固な情報基盤を提供します。IBM Information ServerはMicrosoft® Windows®、HP-UX (PA-RISCおよびItanium)、Linux®、Solaris、メインフレーム用のIBM z/OS®など、広範囲に渡るハードウェアおよびOS環境をサポートしています。

あらゆる情報を結合するコネクタには、以下のような特長があります。

- **構造化**—高速、バルク、イベント駆動のネイティブ・コネクタ。リレーショナル、非リレーショナル、XMLなど、あらゆるタイプのデータベースやその他のファイル・システム、および階層型データ・ソースに接続します。
- **非構造化**—コンテンツ向けに最適化されたコネクタ。コンテンツ・リポジトリ、ファイル・システム、電子メール・システム、ワークフロー・エンジンなどの非構造化データ・ソースに対応します。
- **アプリケーション**—高速、バルク、メタデータ主導のパッケージ・アプリケーション(SAP、PeopleSoft、Siebel、JDAなど)用コネクタ。
- **メインフレーム**—あらゆるメインフレーム・データ・ソースに対応する、高速、バルク、イベント駆動のネイティブ・コネクタ

### 詳細情報

IBM Information Serverの詳細については以下Webサイト(英語)をご覧ください。

[ibm.com/software/data/integration](http://ibm.com/software/data/integration)

その他情報統合技術に関する資料については以下Webサイト(英語)をご覧ください。

[ibm.com/software/data/integration/library.html](http://ibm.com/software/data/integration/library.html)

### IBM Information Server 製品モジュールおよび関連製品

IBM Information Serverソリューションには、以下のような製品が含まれています。

- **WebSphere Information Analyzer**  
プロファイリングからソース・システムを理解し、データ・ルールの継続的なモニタリングにより誤ったデータや不正確なデータの蔓延を防ぎます。
- **WebSphere QualityStage**  
異種ソースからの情報を標準化、マッチングします。
- **WebSphere DataStage®**  
多種多様なソースおよびターゲット間で、データの抽出・変換・ロードを行います。
- **WebSphere Federation Server**  
多様で分散して存在するデータ・ソースに統一ビューを定義。コスト・ベースのクエリ最適化や統合キャッシングなどの機能も含まれます。
- **WebSphere Information Service Director**  
情報へのアクセスおよび統合のプロセスを、再利用可能なSOAサービスとして提供できるようにします。
- **WebSphere Metadata Server**  
データ・スチュワードを明確にし、ビジネス用語とその定義を作成・管理するとともに、IT資産との関連付けを行います。
- **IBM Rational® Data Architect**  
企業データのモデル化および情報統合の設計機能を提供します。
- **WebSphere Replication Server**  
高可用性、災害時回復、データ同期化、データ配布などを目的とした、データベース間的高速かつイベント・ベースのデータ複製機能を提供します。
- **WebSphere Data Event Publisher**  
ソース・システムでのデータ変更を検出し、受け取り側システムへの変更を反映します。また、イベント・ベースの処理を行うため、他のモジュールへの変更データ送信も行います。



IBM製品・詳細情報については、  
IBMホームページ<http://www.ibm.com/jp/>  
をご利用ください。

お問い合わせは、IBMビジネスパートナー、  
製品販売店、弊社営業担当員  
または、ダイヤルIBM(0120-04-1992)へ。  
受付時間:月～金 9:00～18:00  
(祝日、12/30～1/3を除く)  
携帯電話でおかけのお客様は下記の電話  
番号をご利用ください。  
ダイヤルIBM 03-6220-8002(この場合通  
話料はお客様のご負担となります。)

© Copyright IBM Corporation 2007

**日本アイ・ビー・エム株式会社**  
〒106-8711 東京都港区六本木3-2-12

Produced in Japan  
February 2008  
All Rights Reserved

Data Stage、IBM、IBMロゴ、Iterations、  
Rational、WebSphere、z/OSは、International  
Business Machines Corporationの米国およ  
びその他の国における商標。

Linuxは、Linus Torvaldsの米国およびその他の国  
における商標。

Microsoft、WindowsはMicrosoft Corporationの米国  
およびその他の国における商標。

他の会社名、製品名およびサービス名等はそれ  
ぞれ各社の商標。

このカタログの情報は2008年2月現在のものです。

**TAKE BACK CONTROL WITH Information Management**